

Title	前号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1957
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.50, No.2 (1957. 2) ,p.100(28)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19570201-0028

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

えよと考へる方がある。これは産業構造の變化と言つた客觀的
 要因の變化も生活水準に影響を與えると言ふ思想によるものである
 が、生活水準の指標としても無條件に受け容れることはできない。
 第一にかかる意味を持たせるには生産指數と雇用指數が全産業に互
 ついてこそ初めて可能となるが、現在のところ商業やサービス業
 まで含めた數字がないことである。第二は生活水準指標として用い
 るには完全雇用が達成されて、有業者一人當りの實質所得水準
 としての意味を持つなら一應認められるが、不完全雇用下では單に
 就業者の一人當り平均生産力を意味するに過ぎず再び生産の問題に
 戻つてしまう。しかも假にこの二つの前提が充されても平均的に計
 算する限り、分子たる生産指數は附加價值更に正確に言へば純所得
 を指數化したものとなり、就業人員の中には雇用主も職員も含める
 必要がある。

三田學會雜誌

第五十卷 第一號 目次

論 說

經濟心理學における同型理論 II …… 中 鉢 正 美
 地方産業の現状と問題 …… 青 沼 吉 松

—— 遠州綿織物業を事例として ——

アメリカの土地投機に關する一研究 …… 中 村 勝 己

—— Holland Land Company の場合 ——

資 料

最近における物價史研究の動向 …… 渡 邊 國 廣

書評及び紹介

D・ハンフレイ著『アメリカの輸入』 …… 白 石 孝

三菱經濟研究所『世界貿易—自由化

問題の背景』 …… 白 石 孝

岡谷著『ソヴェト工業生産の分析』 …… 加 藤 寛

T・W・ハチスン『經濟學者としての

ペンサム』 …… 服 部 成 三 郎

經濟學關係文献目録

古典學派の崩壊と「賃労働」分析の轉換

— J・S・ミル —

井 村 喜 代 子

一節 ミルの時代

二節 ミルの資本主義體制の把握

三節 ミルの「賃労働」問題の分析

四節 むすび

一、ミルの時代

「ペンタム主義の時代」^(註1)とよばれる一八二五年以降の半世紀は、
 新興資本家階級が舊支配階級地主に對し、新しい大工業制度を承認
 せしめつつ、自由の原則の名において自らの利益を徹底的におし
 すめていつた時代である。

三二年の選挙法改正によつて政治的權力を擴大した新興ブルジョ
 アジーは、三四年には労働能力ある者への院外救助を廢止する新救
 貧法を制定し、労働力支配の自由・救済負擔からの自由を完全なも
 のとした。さらに四六年・穀物法廢止において彼等の勝利は決定的
 となり、つづく四九年の航海條令の廢止、五三・六〇年の輸入關稅

古典學派の崩壊と「賃労働」分析の轉換

の全面的改正を通じ、スミス以來待望の自由貿易の原則が着々と實
 現され、ここに、イギリス産業資本の海外征覇の途がひらかれてい
 った。

しかしながら、新興ブルジョアジーが産業革命をいわば政治的に
 完成していくこの過程は、他面からみれば、勞資の階級對立が激化
 する過程でもあつた。大工業制度の進展とそれともなう周期的恐
 慌による労働者階級の窮乏化^(註2)、窮乏打開のために議會改革運動へ參
 加した労働者に對する三二年の資本家の「裏切り」と新救貧法、
 これらは労働者の階級的自覺をたかめ、二〇年末以降全國的組織化
 をすすめつつあつた労働組合をして、政治的チャーチスト運動へと
 結集した^(註3)。三〇年後半の不況を背景とした蜂起、「四〇年代の飢餓」
 のもとで續發した工業地帯の大ストライキと結びついた大昂揚は、
 プロレタリアの階級的・政治的成熟を示すものとして、労働運動史
 上の一時期を劃する。

しかし、チャーチズム指導者の思想的・組織的不統一性^(註4)は、反穀